

科学の祭典 サイエンス屋台村に参加

11月3日（文化の日）、釧路市こども遊学館で、青少年のための科学の祭典「サイエンス屋台村」が開催されました。

この催しは、科学教育者等が、実験を通じて青少年に、科学のおもしろさを知ってもらうことを目的として、小学校をはじめとして、中・高・大学等の教育機関や官公庁、NPO法人など、18の団体が33の演題を設け、物理・科学の実験や体験教室が行われました。

当ふれあいセンターは、電子映像拡大鏡を用いて、アクリル封入された稚樹や葉、種子等を観察するブースを出展し、そこに映し出された、種子の特徴やその散布の方法を説明しました。参加者の中には、説明を一つ一つ漏らさずに、一生懸命にメモを取る子どもがいるなど、植物の種子散布の知恵を学んでいただくことができました。また、室外からコケ、地衣類、松の葉等を持ってきて観察する親子もおり、拡大映像に驚きの声を上げながら、見入っていました。

この日のこども遊学館は、小・中学生を対象として、無料で解放されたこともあり、たくさんの親子連れや子ども達で賑わっていました。



▽ 熱心にメモを取る子どもの様子



▽ 観察する親子連れの様子